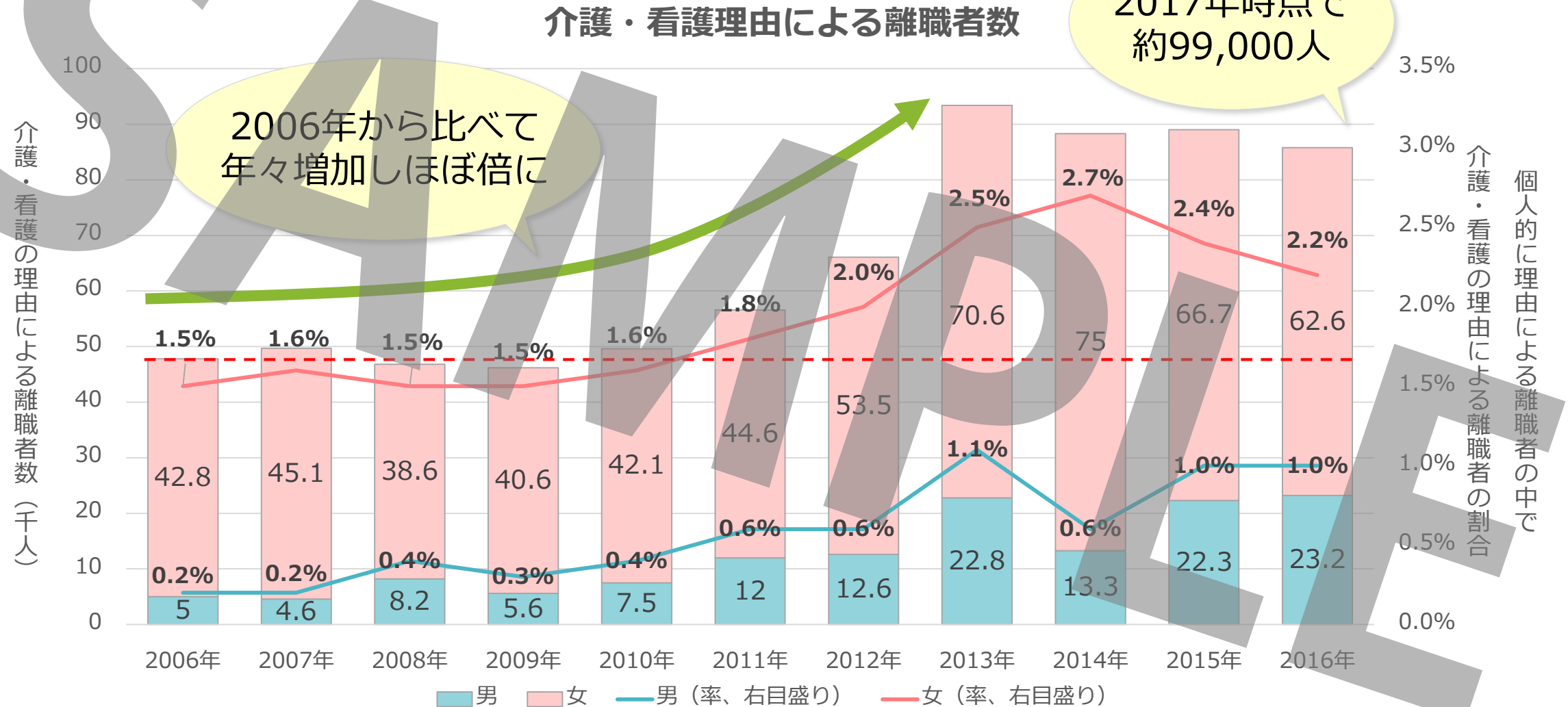


介護離職を防ぐための支援

株式会社ドクタートラスト

介護による離職者数の増加



平均寿命と健康寿命

健康寿命とは？

健康寿命とは、日常生活に制限のない期間を指す。
起床、衣類の着脱、食事、入浴などの普段の生活における動作が1人ででき、
外出、仕事、家事、学業、運動などに制限がない期間。



平均寿命 - 健康寿命 = 約 10 年

平均寿命以上に健康寿命を延ばすことが重要！

介護離職と日本経済の関係

介護離職者数 約10万人

経済損失

約6500億円

(円)
7000億

政府の受け皿整備

介護離職による
日本経済への損失

<読売新聞<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191015-OYTET50000/>を元に作成>

介護離職は企業の痛手

- ・ 代わりの人材探しや教育や研修も必要となる

⇒ **コストが発生**

- ・ 40代、50代の管理職層、中核社員の離職

⇒ **事業活動に支障をきたし、企業の成長や存続にも関係**



継続雇用を前提とした

仕事と介護を両立する職場環境の整備が必要



介護離職の3大原因

職場には迷惑を
かけたくない



プライベートなことで
職場に迷惑をかけることは
できないと感じて
介護離職へ

介護サービスを利用せず
自分で介護に専念



自分の親なのだから、
自分でお世話をしなくては！
という思い込みで介護離職へ

今の仕事と介護の
両立は難しい



今の仕事では
仕事と介護の両立は難しい
との思い込みから
相談しないで介護離職へ

介護離職防止への3つのポイント

1

介護の基本知識を
社員に情報提供

- ・誰もが直面する可能性があること
- ・介護保険サービスの種類と考え方
- ・仕事と介護の両立のための考え方
- ……など

仕事と介護の両立に関する基本知識を、社員が介護に直面する前に知っておけるようにする

2

介護について相談
しやすい職場作り

- ・日頃からプライベートの共有
- ・上司や同僚も介護に関する基本知識を持てるよう教育
- ……など

誰もが介護に直面する可能性があることを知り、介護に直面した時に同僚・上司、人事担当などへ相談できる環境を目指す

3

介護に直面しても活躍
し続けられる職場作り

- ・残業が出来なくても大丈夫
- ・急な休暇への対応が可能
- ……など

チームワークと柔軟かつ多様な働き方で成果を出し続けられる職場作りが重要。時間当たりのチーム生産性を高める働き方見直しの取り組みを進める

職員の現状を把握して、PDCAを回そう

1. 現状を把握しよう

従業員構成（年代別、男女人員等）から介護に直面する従業員数を仮説
従業員にアンケートを取る……など



2. サポート体制を整えよう

制度の周知が最優先

人事制度充実
介護ハンドブック・イントラネット
仕事と介護の両立ナビシステム
在宅勤務（テレワーク）
相談窓口の設置
NPO等との連携
民間サービスの紹介…など

制度の充実は
後からでも◎

3. 教育体制と風土を作ろう

仕事と介護の両立セミナーの実施

管理職



40代以上従業員



従業員全員

希望者だけでなく
意識の低い人にも
教育を行う

基本知識の習得と風土づくりを目指す

